

〔寶物集〕五昔今人子ヲ悲メル事モ、歌ニテ申スベシ、

人ノ親ノ心ハ闇ニアラテ共子ヲ思フ道ニ迷ヒヌル哉

中納言兼輔

後拾遺

五月闇子戀森ノ郭公人知ズノミ鳴ワタル哉

藤原兼房

孩月詣集我子ヲナ、ノ里ニ置テ今夜ノ月ニ面影ゾ立

藤原基俊

雛鶴ノ花ノ林ニ入ヌレバ飛立マデニ嬉シカリケリ

太宰大貳重家

子ヲ思道ヲゾ祈ル皇ニ仕フル跡ヲタガヘザラナン

中納言雅賴

是程志深ク淺カラヌ親ノ爲ニ、孝養報恩セン人ハ、イカハ懺悔トナラズモ侍ラン、實ニ志ノ深キ事ハ、親ノ子ヲ思ニハ過ズ、

悌 不悌 悌

悌ハシタガフト訓ズ、即チ弟ノ能ク其兄ニ敬事スルヲ謂フナリ、而シテ兄ノ善ク其弟ヲ惠

ミ、或ハ兄弟互ニ相愛セシ事蹟ノ如キ、亦此ニ併載セリ、

名稱

〔類聚名義抄〕六悌ヤスシ

シタカフ

悌音弟、兄悌

〔春鑑抄〕義略

兄タル人ハ、ヲトヲトニタイシ、ヤハラグガヨロシキ處ゾ、弟タルモノハ、兄ニシタガフハヨロシ

キ處ゾ、孟子ニ義之實從兄是也ト云テ、ヲトヲトタルモノハ、兄ニシタガフモノゾ、サルホドニ義

ト云モノノ眞實ハ、兄ニシタガフヲ云ト、孟子ノイハレタゾ、

〔翁問答〕上本

師益軒曰原略

弟は悌をもて兄につかふる道とす、悌は敬ひしたがふとくになり、他

人のとしおい、くらゐたかきにつかふるも、おなじことほりなり、他人にても老たるをうやまふ

は、道理の當然なり、ましておやの身をわけて、我にさきだちてうまれたる兄を、うやまひしたが

ふべきこともちろんなり、兄は惠をもつて、おとくをひきゆる道とす、惠は友愛の二義をかね